

令和2年度 会津教育事務所 指導の重点【後期】

会津の強み【令和元年度学校訪問から】

- 1 子どもたちの興味関心を高め、思いや問いを引き出して、「めあて」を設定する授業が多く見られる。
- 2 ねらいを達成させるために、児童生徒の思考の時間を確保し、様々な言語活動やICT機器等も活用しながら、考えを広め深める授業が増えてきた。
- 3 学級担任を中心に学校ぐるみで不登校の未然防止、及び将来的な社会的自立を目指した心温まる指導が行われている。



会津の課題

- 1 全国学力・学習状況調査結果が全国平均正答率を下回っている。【特に中学校英語】
※概ね全国平均(小学校国語)、下回っている(小学校算数、中学校国語、数学、英語)
- 2 不登校児童生徒が年々増加している。
※1,000人あたりの出現率が全国平均を上回っている。



目標1

授業等での学習内容の定着



目標2

新規不登校児童生徒の出現防止



指導の重点

- 1 まとめ・振り返りの時間を確実に確保する。
- 2 「ねらい」と「まとめ」の整合性を図る。
- 3 授業と家庭学習を連動させる。



指導の重点

- 4 教師による子どもの居場所づくりを促進する。(「分かりやすい」授業、一人一人が活躍できる学級経営)
- 5 早期発見、早期対応による未然防止に努める。(組織的な対応)

※指導の重点の詳細は裏面